

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 三菱ガス化学株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-8324 東京都千代田区丸の内2-5-2三菱ビル
----	---------------------------	----	---

本票作成	部署名：三菱ガス化学株式会社 水島工場 研究技術部
------	---------------------------

主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業
-------	-------	----	----------

事業の概要	キシレン類の異性化・分離及びその誘導体の製造。(キシレン類生産能力 630,000t)
-------	---

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	水島工場	倉敷市水島海岸通3-10

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	---

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 28 )年度排出量	目標年度(平成 29 年度)
	412,118 t CO <sub>2</sub>	399,547 t CO <sub>2</sub>	399,754 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 28 )年度排出量
	①	水島工場	399,547 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：平成 27 年度 ～ 平成 29 年度 ( 3 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 28 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	20.4 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 製造業として事業拡大等もあり、コントロールできる数値として生産数量を採用し、GHG排出量/生産数量=原単位で算出しています。	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 28 )年度	目標年度
		0.621 t CO <sub>2</sub> /( t )	0.494 t CO <sub>2</sub> /( t )	0.603 t CO <sub>2</sub> /( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 28 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

平成28年度は、前年と比較して生産数量が約2%増加したが、温室効果ガスは、改善活動が寄与し、排出量は前年度を約5%下回る結果となった。原単位基準においても目標を達成した。  
省エネルギー活動は、継続して実施しており、また一昨年より、省エネルギープロジェクトで抽出した案件を順次実行中。本プロジェクトは3ヵ年計画としており今年度(平成29年度)が最終年度となる。確実に実施していく予定。

**【推進体制】**

工場のエネルギー管理体制にて、全社的なGHG削減目標／RC目標に基づく目標設定を行い、個々のテーマについてはTPM活動における省エネルギー（個別改善）において取り組んでいます。継続的に省エネルギー活動を行うべく、省エネルギープロジェクトで摘出した案件を順次実行しています。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島工場	<p>主力製品のキシレン類の異性化・分離のプロセスに関しては、『省エネルギー化』のプロセスの検討しています。</p> <p>工場としては、個別改善活動を通じ、装置の省エネルギー化の個別改善を継続的に進めています。平成28年度は、テーマ毎積算で約8,400<sup>t</sup>-CO<sub>2</sub>/年の削減を達成しました。（蒸気の有効活用、運転最適化等）</p> <p>また、現在取り組んでいるテーマとして、下記項目があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ボイラー運転最適化（低負荷運転時の最適化）</li> <li>②ユーティリティバランス最適化による蒸気タービンの集約化（ユーティティードemandの最適化）</li> <li>③各製造課蒸気の有効利用（余剰蒸気の有効利用、低負荷時の最適化）</li> <li>④省エネプロジェクト摘出案件の実行（3か年計画；2015-2017）</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--